

かりきゅらすかい

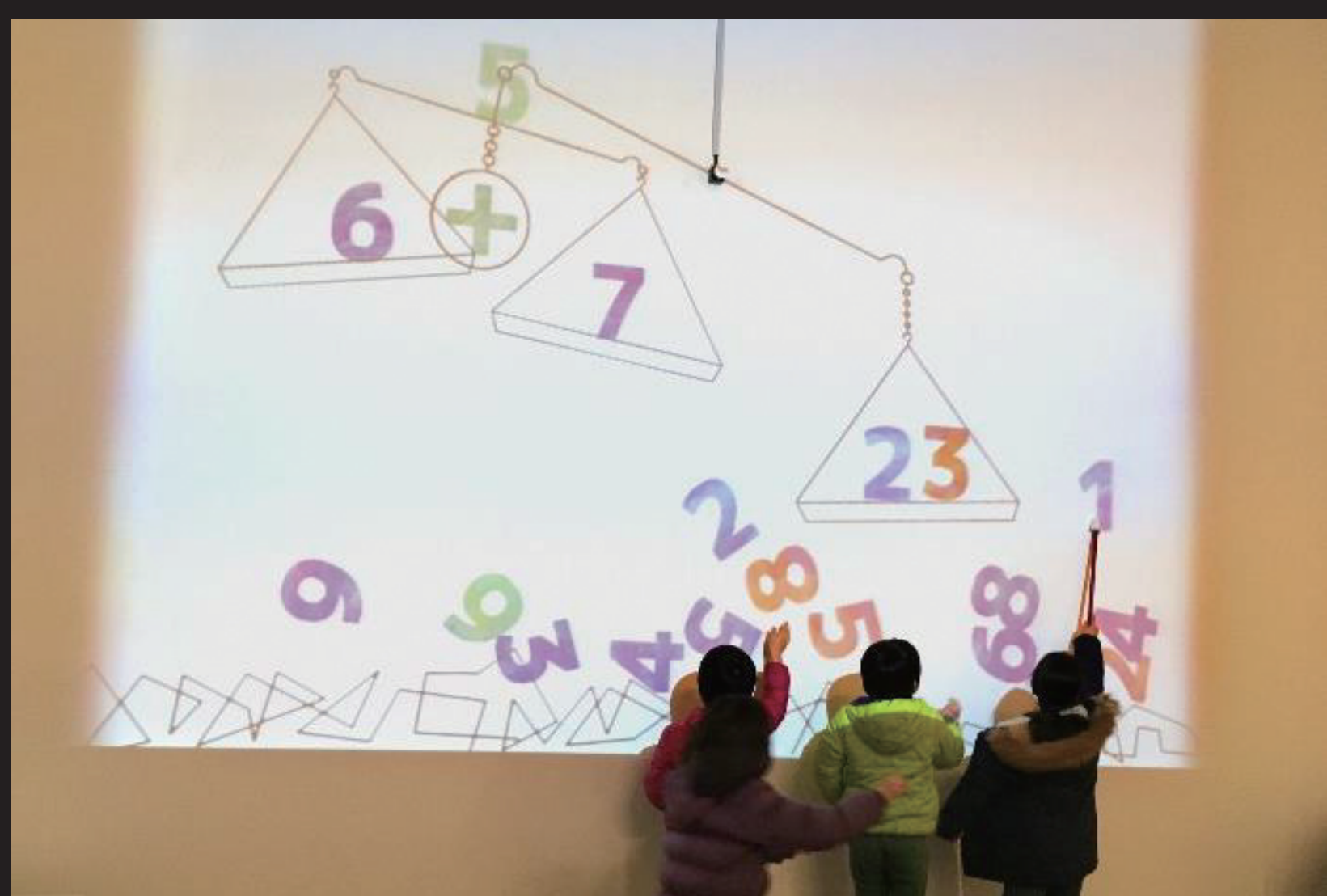
学科 CG・映像分野 カテゴリ 教員の創作活動

「かりきゅらすかい」は、デジタルアート表現の最先端であるプロジェクションマッピングを駆使した、体験型アート・アトラクションである。本校CG・映像分野の専任教員である、師井聡子（企画・アートディレクション）と笹田晋司（エンジニアリング）が共同制作した。

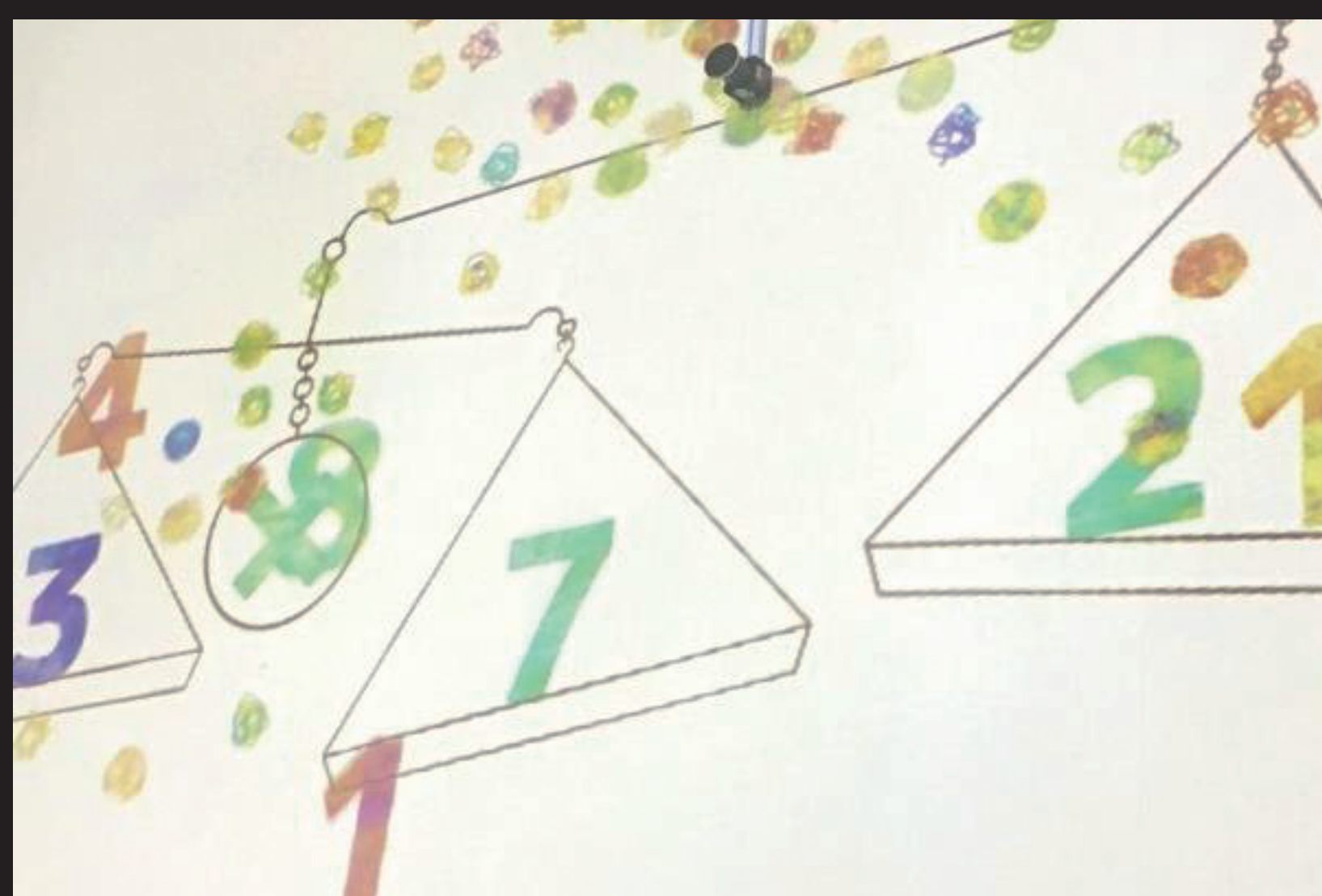
上から降ってくるカラフルな数字を捉え天秤に移動。左側の数式と右側の答えが一致すると、キラキラと光が降り注ぐ。浜田市世界こども美術館（2016年）や、つくば美術館（2018年）などで展示された本作品は、足し算や掛け算を楽しみながら、体を大きく動かして楽しめるインタラクティブな算数アートであり、大人も子供も夢中になって遊ぶ作品だ。

人の移動場所や手の位置をセンサで捉え、その結果を投影画面に随時反映させることで魅力的な操作感を実現。操作はとても直感的であり、画面の中の数字は、観客のアクションにリアルタイムに反応している。

両教員は1999年よりインタラクティブ作品の共同制作を開始。映像制作やデジタル表現についての研究・創作活動を積極的に行い、国内外での展示経験や受賞歴を多数もつ教員のハイレベルな技術や知識は、日々の熱心な学生指導の中で、次世代を担う若手クリエイターの育成に還元されている。



つくば美術館2018で来場者が
楽しむ様子



つくば美術館2018
展示の拡大イメージ